

第

79

回

私の好きな『伊勢物語』
想いを和歌で伝えよう



関西大学教授

山本登朗

青山学院大学教授

高田祐彦

開催日 平成29年6月2日(金)
会場 よみうりホール
参加費 1,000円(税込)

主催 公益財団法人 JRR 東海生涯学習財団
後援 京都市
協賛 東海旅客鉄道株式会社
企画・運営 株式会社 ジェイアール東海エージェンシー

第79回 私の好きな『伊勢物語』—— 想いを和歌で伝えよう

恋に落ちたら、まず何をする？

古代の人は想いをすぐ「和歌」に託した。恋しくて詠んで、逢えても詠んで、別れても詠んで。

在原業平という貴公子の一代記というかたちをとった『伊勢物語』は、

恋に生きた男が詠んだ歌から生まれた物語。

ままならぬ恋、ままならぬ人生を歌に託した125段の珠玉の語りは、

平安時代の物語や和歌に大きな影響を及ぼした。

歌に生かされる——そんな王朝の理想そのものである『伊勢物語』。

平安びとと同じく、私たちもあこがれ、語り継ぐ人となる。

山本登朗氏には、『伊勢物語』の成り立ちとことばの魅力、そして歌が担ったものについて、

高田祐彦氏には、いかに『伊勢物語』が愛され、平安文学を豊かなものへと導いたのか、

それぞれお話しいただきます。



やまもととくろう

山本登朗(関西大学教授)

1949年大阪府生まれ。京都大学卒業、同大学院文学研究科博士課程修了。京都光華女子大学助教授、教授を経て、現職。専門は中古文学。和歌、漢詩、物語など幅広い分野を比較文学的視点で考察し、特に『伊勢物語』は享受史、注釈史、そして多角的な読みの可能性を探究する。著書に『伊勢物語論——文体、主題、享受』(笠間書院)、『伊勢物語成立と享受』(竹林舎)、『絵で読む伊勢物語』(和泉書院)などがある。



たかだ ひろひこ

高田祐彦(青山学院大学教授)

1959年東京都生まれ。東京大学卒業、同大学院人文科学研究科博士課程退学。東京大学助手、神戸大学助教授を経て、現職。博士(文学)(東京大学)。専門は平安文学。和歌と物語文学の表現の関係や平安時代の叙情的表現などを研究する。主な著書に『源氏物語の文学史』(東京大学出版会)、『新版 古今和歌集』(角川ソフィア文庫)、共著に『人生をひもとく 日本の古典』(全6巻「からだ」「はたらく」「つながる」「たたかう」「いのる」「死ぬ」岩波書店)、『日本文学の表現機構』(岩波書店)などがある。

日時：平成29年6月2日(金)
開場 午後5時 開演 午後6時(午後8時45分終了予定)
会場：よみうりホール(東京都千代田区有楽町1-11-1)
JR・地下鉄有楽町線有楽町駅より徒歩1分

募集人数：1,100人

参加費：1,000円(税込) 当日お支払いいただきます。

申込締切：平成29年4月24日(月) 必着

申込方法：右のハガキを切りとり、切手を貼ってお申し込み下さい。
(2人までご応募いただけます。)

通常ハガキでもお申し込みになれます。その場合は右ハガキの枠内の事項をご記入ください。(2人でお申し込みの場合は2人分)

※募集人数を超えた場合は抽選とさせていただきます。
参加いただく方には入場整理券をお送りいたします。

問い合わせ：「講座 歴史の歩き方」事務局

Tel.03-6688-7884 (平日 午前10時~12時/午後1時~5時半)

主催：公益財団法人JR東海生涯学習財団

後援：京都市

協賛：東海旅客鉄道株式会社

企画・運営：株式会社ジェイアール東海エージェンシー

※「講座 歴史の歩き方」の案内は

公益財団法人JR東海生涯学習財団ホームページでもご覧になれます。

<http://www.jrtf.or.jp/history/>

表紙：依屋宗達筆 伊勢物語図色紙「大淀」(細見美術館蔵)

◇皆様の個人情報は事務局が責任を持って管理し、公益財団法人JR東海生涯学習財団が主催・後援する催事等のご案内以外には使用いたしません。
◇講師・内容は予告なく変更となる場合がございます。

<キリトリ>

POST CARD

52円切手を
お貼り下さい

〒108-0075

東京都港区港南2-1-95
JR東海品川ビルB棟7F

(株)ジェイアール東海エージェンシー内

「講座 歴史の歩き方」事務局 Z 係

(2人までご応募いただけます)

お名前(フリガナ)	年齢
電話番号	歳
ご住所 〒	都道府県 市郡区

お名前(フリガナ)	年齢
電話番号	歳
ご住所 〒	都道府県 市郡区

↑キリトリ↓